

郵便はがき



料金別納郵便

ひろめよう 合掌の心

心伝える日蓮宗

〒四二六-〇〇二五

藤枝市藤枝四一七

大慶寺

大場正昭

FaxTel
〇五四-六四一-二二二九
〇五四-六四四-六二二六

ohba@ennyozan.org

おしゃかさまのお誕生日・花祭り法要

今年も例年通り「花まつり法要」を営

み、甘茶をかけてお祝いします。お忙し

い中ですが是非ご参加下さい。

○期日 4月12日(木)

○時間 午後1時

○場所 大慶寺本堂

遅れていました宗祖降

誕800年記念事業工事

の第一期工事「本堂改修

・耐震工事と庫裡新築工

事」がようやく始まりま

す。今後は工事の進捗状

況を法話箋でもお伝えし

ていきます。

藤枝市の深澤千枝子

様、高橋正樹様から法話

箋のお葉書代を頂戴致し

ました。ここに篤くお礼申し上げ、法話

箋作りの資とさせて頂きます。



一つ一つは本当でも……

もう何年になるのだろうか。法話箋を若さと勢いで書き初めて随分経つ。今号で456号。12で割ると38となる。38年だ。もうそんな時が流れたのかと今更ながら驚かされる。

若い時は、自分の意見や考えを不思議な自信を持って周りに強要する。しかし、年令を重ね、経験を積む中で、自分の考えと同様に周りの人の考えを尊重することも覚える。しかし、周りの考えに合わせすぎると、求めるものが見えなくなる。

「木を見て森を見ず」という言葉がある。目の前の事象、環境にとらわれ、全体の姿を捉えられないことを指す。この考え方はとても大切なことだと昔から思っていた。

仏さまも、「真実の相」を求めよと説く。これは、自己の経験の浅い深いに関係なく、置かれている環境に左右されず、人間の欲や権威にもよらず「真実の相」を捉えれば、本当の進むべき道がわかってくるとお示しにな



っている。私の法話の1つに「久遠の松」の話がある。寺を訪れ「久遠の松」を見上げた人の感想だ。
①日蓮聖人がお手植えになった松ですか。やはり、信仰の力はすごいですね。

②750年ですか。それに比べれば、人間の一生なんてわずかなんですね。

③天然記念物なら拝観料を取ればいいのに。

④境内の真ん中であつたら車が止められない。

⑤お上人、もし枯れたらいくらで売れるかね？

その人の今までの生き様、考え方、環境等で、同じ松を見ても人によって見方が違う。そして自分の考えが正しいと思う。

しかし、それはそれぞれの木を見ているのだ。仏さまは、本当の姿を捉えろと説く。寺へおいでの折は、外の駐車場からの全体像を見て何か感じて頂けたら有り難い。